

いつか 必ず きっと

テスト前の大学習相談会を行いました。

6月4日(金)の午前中の3時間、中間テストに向けての大学習相談会を行いました。この日は春季県大会の日で、多くの部活動が県大会に出場するために実現した時間割です。学年の先生方と、みなさんのテスト勉強に少しでも役立つような時間にするためにはどうすればいいかを熱く話し合い、テスト前大学習相談会を行うことを決めました。各教科担任が、それぞれの教室で、各時間に行う内容を変えて授業を行い、子供たちがその予定表を見ながら、自分のテスト勉強をより良いものにしたし、弱点を克服したりすることを主体的に考えて教室を移動していくという方式です。

今年度から中学校で実施されている新学習指導要領の文科省の解説で、「どのような未来を創っていくのか、どのように社会や人生をよりよいものにしていくのかを考え、主体的に学び続けて自ら能力を引き出し、自分なりに試行錯誤したり、多様な他者と協働したりして、新たな価値を生み出していくために必要な力を身に付け、子供たち一人一人が、予測できない変化に受け身で対処するのではなく、主体的に向き合って関わり合い、その過程を通して、自らの可能性を発揮し、よりよい社会と幸福な人生の創り手となっていけるようにすることが重要である。」と示されています。あまりピンときませんでしたが、大学習相談会の子供たちの様子を見ていて、これが、この解説を実践する授業の在り方の一つなのかなと感じました。今後の学年経営に活かしていこうと思いました。

来週から社会体験学習「宮っ子チャレンジウィーク」です。

来週から社会体験学習の本番です。6月11日(金)に社会体験学習直前の学年集会を実施しました。スローガン・ロゴマーク・シンボルマークの表彰を行い、副校長先生からは、「なぜ働くのか?」を見て聴いて肌で感じてほしい」という話をいただきました。その後、社会体験学習実行委員の話、学年主任の話と続き、いよいよ、今年の12月から取り組んできた社会体験学習に向けての準備がすべて整いました!

※学年集会の様子を写真を撮ることができていなくてゴメンナサイ



みなさん、いよいよ来週から宮っ子チャレンジが始まりますね。いままで、普段はやることのないアポ取りの電話や事業所への事前訪問など、少しだけ社会人の様なことをしてきました。その中で、すでに多くのことを学ぶことができました。本番までに準備してきたことを来週から活かしていけるといいですね。しかし、来週からの宮っ子チャレンジでは、初めて見たり、初めて聞くこともたくさんあって、うまくいかないこともたくさんあると思います。そんな状況をあきらめずにやりぬく力を身に付けることも宮っ子チャレンジの目的の一部です。

宮っ子チャレンジ終了後、楽しかったという思い出だけの活動にせず、これからの人生にどう生かしていけるのかを考えましょう。1週間の活動全てから多くのことを吸収し、少しでも成長して帰ってくるができるよう頑張りましょう。そして、最高の思い出にしましょう。

先生には、中学校3年間の生活の中で、みなさんに育ててもらいたいと思っているものが3つあります。それをそのまま宮っ子チャレンジの目的にさせてもらいました。

育ててもらいたいものの一つ目は、「夢や希望」です。社会で働く大人の人と接することで、こんな大人になりたいな、と思えるような、自分の今後の生活のモデルになるような大人を見つけてきてください。

2つ目は、「支え合いの精神」です。仕事というのは、誰か一人のずば抜けた能力で行うものではありません。仕事は、チーム全体の情熱で行うものです。お互いのことに関心を持ち、優しく手を差し伸べる支え合いの精神が良い仕事をするチームには欠かせません。それを感じ取ってきてください。そして、宮っ子チャレンジ終了後のより良い学級づくりに活かしてもらいたいと思います。

3つ目は、「自己肯定感」です。中学2年生のみなさんは、まだまだ微力かもしれませんが、無力ではありません。誰かのためにという思いでやったことで、ありがとうと言ってもらえた時の嬉しい気持ちをたくさん味わってきてもらいたいと思います。

宮っ子チャレンジの最終日に、事業所の方にお礼とお別れのあいさつをするときに、胸がジーンと熱くなるような活動にして中学校に戻ってきてください。

先生は、自信を持って134名を送り出したいと思います。いってらっしゃい!